

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2991000015		
法人名	メディカルケアサービス関西株式会社		
事業所名	愛の家グループホーム香芝 (青空)		
所在地	奈良県香芝市五位堂 1丁目341-1		
自己評価作成日	平成28年12月20日	評価結果市町村受理日	平成29年3月1日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaigekensaku.jp/29/index.php?action_kouhyou_detail_2016_022_kani=true&JigyosyoCd=2991000015-00&PrefCd=29&VersionCd=022
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 市民生活総合サポートセンター		
所在地	〒530-0041 大阪府北区天神橋2丁目4番17号 千代田第1ビル		
訪問調査日	平成29年1月23日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

特に力を入れている点は、認知症の進行と共に日常生活の支援の方法を変える事です。症状の緩和には日課を大切にしながらも、ご利用者様お一人お一人の時間の流れを崩さない事と、スタッフが寄り添い一つでも個人の自由や選択を大切にサポートする事を心がけています。お客様の一番の楽しみは「お食事」です。朝・昼・夕 手作りのバランスを考えたメニューを提供させて頂きます。手の空いている方においしい盛り付けをして頂いています。毎食「おいしい」というお声をいただいています。皆様にとってもう一つの楽しみが「お散歩」です。季節を感じて外の空気と景色を楽しみ気分転換を図っています。天候や気温で外に出れない場合でも、平屋造りの建物を利用し、2つのユニットの行き来は自由です。毎日、お互いのユニットのご利用者様・スタッフと交流があります。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

当該ホームは毎年利用者アンケートを基に理念や日々のケアを振り返る機会を持ち、職員アンケートも含め次年度の取り組みを決め会議で説明し実践に繋がっています。利用者の状況を見極め職員一人ひとりが様々な気づきが出来る様に指導し、取り組んだことは毎月家族に日々の生活が分かる様に書面で報告しています。また、運営推進会議には地域の自治会関係者や「地域見守りネットワークの会」の方の参加があり、意見交換を行う中で情報を得たり、地域の方々と知り合うきっかけとなり交流に繋がっています。認知症サポーター講座の講師を依頼され勉強会に参加したり、質疑応答を受ける等認知症への理解を深めるとともに地域に根差した事業所となるよう日々取り組んでいます。また、職員が希望する研修を計画しスキルアップにも取り組んでいます。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	ホーム内で研修を行い、全職員が意識し実践できるよう心がけている。	法人の理念を基に一年間の取り組みを利用者アンケートの結果を得て目標を作成し、全体会議で取り組みや道しるべとなる内容を説明し実践に繋がっています。会議では情報の共有と個々の達成度も含め定期的に評価を行い、上期及び下期に振り返る機会を作っています。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域のボランティアや保育園との交流は定期的にあります。地域の方から農作物を頂いたり、近隣に住むご友人がホームへ遊びにいらっしゃることもあります。	地域の小学校の運動会や祭り等の参加をはじめ、近隣の幼稚園児がクッキーを持ってホームを訪ねてきたりホーム主催の秋祭りには多くの方の参加を得て交流しています。また、紙芝居や本の読み聞かせ、歌や体操のボランティアも定期的に来訪があります。日常的な交流としては利用者が散歩に出かけた際に近隣の方と挨拶を交わしたり果物等おすそ分けなどがあります。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	香芝市内の事業所と連携し「認知症サポーター研修」を実施。独自では、共用型の認知症対応型通所介護の指定をより、事業を開始。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	他市町村の地域包括や介護保険課の方の参加も増え、ホームでの取り組みや状況を広く報告する機会が増えました。(毎回資料作成)	会議は2ヶ月に1度家族や地域住民、市役所介護保険課担当者や地域包括支援センター担当者、見守りネットワークの会の方等が参加し開催されています。ホームからは利用者の日常生活の様子や行事、事故や看取りについても写真や資料で報告後、質問を受けています。参加者より認知症カフェの案内やボランティアの紹介や外出先の情報を得るなど有意義な会議となっています。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	ホーム内の様々な変化や変更については、事前に相談・報告を行い、連絡を密にしています。	運営推進会議に市の担当者が出席しており、事業所の取り組みや現状を伝えています。書類の提出や報告事項等直役所に接出向く機会も多くあります。グループホーム連絡会にも市の担当者や社協の職員も参加し情報を共有しています。また、行政主催の防犯に関する研修を受け対応方法も学んでいます。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	「身体拘束」についての研修を実施。正しい情報・知識を学ぶと共に身体拘束をしないケアに取り組んでいます。	身体拘束についての研修を入職時と年に1回行い、具体的な内容が理解できるようにチェック表を用い2カ月に1度確認する事で職員が意識出来る仕組みを構築しています。また、利用者の行動を止めることなく職員が連携して見守り、一緒に出掛けたり、外気浴を行っています。ホームの玄関やユニットの扉は夜間以外は施錠を行わず自由に出入り出来る様にしています。	

愛の家グループホーム香芝（青空）

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	「高齢者虐待防止」についての研修を実施。正しい情報・知識を学ぶと共に虐待が見過ごされる事のないよう注意し、防止にも努めています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	介護保険課担当者より説明は受け資料も保管している。個々の必要性に応じて、活用できるよう橋渡しをしています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	都度疑問点や質問を確認しながら説明している。理解や同意が得られるまで説明を行っている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	年に1度、ご家族様アンケートを実施。フリーコメントでご要望やアドバイスをいただき改善を図ると共にその後の対応についても、お手紙で周知しています。	面会時には直接意見を聞いています。利用者の状況の変化や本人の意向など些細なことも報告し相談をしています。もう少し歩けるようにとの要望を受け担当医と相談し訪問マッサージを導入し個別対応に繋がっています。年に1度のアンケートの結果入浴状況が分からないとの意見を受け毎月の手紙で内容や写真を同封し分かりやすくなる様に工夫する等、意見を受けてサービスの向上に活かしています。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	カンファレンスや全体会議、日々の引継ぎの中で意見や情報を共有し、具体的な対策に活かしている。	各ユニットのリーダーが職員の意見を取りまとめたり、アンケートで様々な意見を聞いています。各担当委員からは利用者のケアや行事、業務についての提案があり、中でも研修の充実を希望する職員が多く検討し実施しています。職員の様子を親でリーダーや管理者が個別に意見や思いを聞き職場環境を整えています。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員個々のアイデアや提案は、全職員で協力し実践につなげるよう努めている。研修の実施も行っている。個々が提供したいケアを考え実践できるようにしている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	新人向け研修やホーム内研修を行い、学ぶ機会を設けている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	他の事業所と合同で研修を実施やイベントの開催を行っている。		
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前の事前情報の収集や生活の様子を出来る限り具体的に記録。ご家族様にも協力いただきながらサービス導入時は特に相談・報告を行い、ご本人が少しでも早く馴染めるよう努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族には出来る限り情報を提供いただき、自宅での過ごし方を伺います。ご家族が望まれるサービスの内容を具体的に提案できる話し合いを出来るよう努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人はもちろんご家族も含め、環境を整え必要な支援を必要なタイミングで対応できるよう努めている。(医療との連携は特に慎重に行う)		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ご本人がこれまでの生活習慣で養われたものは、出来る限り発揮していただけるよう他の利用者様との関係も含め、職員が配慮している。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族様には、最もご本人を理解される存在として、入居後も相談・報告を心がけ、一緒に支えていただきながらご家族の支援にも努めている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	グループホームの共有スペースでデイサービスをご利用頂き、そのままご入居頂いているケースがあり馴染みの場所や関係が途切れないよう支援に努めているが一部である。	家族や友人、近隣の方の面会がありリビングや居室等でゆっくり過ごせるように支援を行っています。また、今まで通っていた詩吟の会には仲間が迎えに来て参加している方もいます。家族の協力の下外出や外泊する方には準備など調整を行ったり、年賀状の投函等これまでの馴染みの関係が途切れないように支援をしています。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	職員が日々の生活の中で、それぞれの人格に配慮しながら、利用者様同士の関係を支援している。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	日常生活全般において、些細な事でも相談・報告に努め、これまでのサービスの利用においても関係を断ち切らないよう工夫している。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ご家族様にも協力いただき、過去の暮らし方や様子を教えていただき、ご本人の意向に任せる場面を作るよう工夫している。	入居前の面談で利用者の生活状況や日課、習慣や好み等の情報を聞き取ったり今まで関わっていた担当者より情報を得て、本人や家族の意向や希望の把握に努めています。入居後は日々の様子や利用者の言葉、表情や反応を記載し日々のケアを通して心情を汲み取り、アセスメントシートに追記して職員間で情報を共有できるように取り組んでいます。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	自宅の様子を見せていただいたり、ご家族にお願いし、情報の提供を書面で頂く等し把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の役割や個別の記録、引継ぎで状態・状況の把握に努めている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	カンファレンスで現状に即した介護計画か話し合い、ご本人にとってより良いものとなるよう努めている。	本人や家族の思いアセスメントを基に介護計画を作成し入居後1か月後にカンファレンスを行い計画を見直しています。その後は毎月モニタリングと評価を行い特に状況に変化がなければ3か月ごとにサービス担当者会議を行い再アセスメントを行い計画を見直しています。見直しに当たっては本人や家族、医師、看護師の意見を改めて聞いています。職員は情報を共有し計画に沿った記録がなされています。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の記録は出来ている、気づきに関する情報を更に量を増やし介護計画に活かせるよう現在取り組んでいる。		

愛の家グループホーム香芝（青空）

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご家族に相談し様々な提案をしながら、ご本人にとってより良いサービスの提供が実施できるよう取り組んでいる。多機能を目指している。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域資源を活用しながら、お一人お一人の暮らしを豊かに楽しく過ごしていただく為の工夫は行っているが、まだまだ出来ることがある。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご家族に希望を尊重し、往診医と相談しながら早期適切な対応が受けられるよう支援している。	入居時にかかりつけ医は出来るだけ継続してもらえるように説明しています。受診は家族が同行し医療連携表を使い互いに情報の共有を行っています。提携医の往診は月に2回あり24時間連絡が取れ、緊急時に相談ができる関係が築かれています。訪問歯科や訪問マッサージは希望者が口腔ケアや治療を受けています。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	カンファレンスや記録で情報の共有、直接申し送るなどし、個々の状態に合わせ適切に受診・服薬の指示が得られるよう支援している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入退院については、個々の状態や経過をご家族様と共有・理解いただきながら医療との連携、フォローに出来る範囲で対応している。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	医療従事者より、事前に起こり得る状況を伝えて頂き、事業所で出来る範囲とご家族に協力頂く部分を話し合っています。書面で明確に説明した(ケアプラン)上で了承の下、全職員で支援に取り組んでいる。	重度化した場合に行える支援について入居時に説明をしていますが、利用者の状況に合わせ出来る事や出来ない事等を何度も説明を行っています。今後の方向性についてはかかりつけ医と家族を含めて話し合いを行い、家族の理解と同意の基希望に添えるように相談し具体的な方針を決めています。看取りの研修やカンファレンスを行い看護師より指導も受けながら個々の状況に合わせ可能な限り希望に添えるよう支援を行っています。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変や事故発生時の連絡体制、対応については状況に応じ、医療従事者へ指示を仰ぐよう周知している。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回の訓練実施。地域の防災訓練にも参加している。全職員がAEDや消火器の使用について訓練を受けている。 近隣に住むご家族様にも協力要請をお願いしている。	年に2回火災を想定した訓練を消防署の指導の下、通報から初期消火、避難誘導も含め利用者も参加し行っています。また、消防機器の点検や避難経路の確認、水消火器の使い方も学んでいます。さらに利用者の居室入口には緊急時の誘導方法が分かりやすくイラストにして掲示しています。また、地域の防災訓練にも利用者と共に参加しています。備蓄も3日分の準備があります。	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	個々の人格を知り、プライバシーに配慮した言葉かけを心がけて対応している。	接遇や尊厳、プライバシーに関する研修を行い、利用者には基本的には敬語で丁寧な言葉遣いを行うように指導しています。認知症に対する理解と声掛けについても学び親しみのある言葉遣いで、利用者がわかりやすいような声掛けであるかを確認しながら対応しています。また不適切な対応があれば管理者が注意しています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常生活の中でご本人へ確認しながら、言葉だけでなく表情や仕草で思いを汲み取るよう、働きかけるよう配慮している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	その日に職員同士で話し合い、お一人お一人の様子に合わせ、支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	ご本人の使用されていた化粧品や洋服など提供いただき、ご自身で出来る限り準備いただけるよう見守っている。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	お一人お一人の好みのメニューで提供を心がけている。ご自分で召し上がって頂けるよう、味・盛り付けにも拘り、楽しみにして頂けるよう工夫している。夕食の盛り付けは日課となっている。	本社管理栄養士が立てた献立を基本とし利用者の嗜好に合わせ変更し食材を発注しています。調理担当の職員が料理しますが、盛り付けや下膳、テーブル拭き、食器洗いなど出来る事に携わっています。時には野菜の下ごしらえを一緒に行うこともあります。また、季節の合わせた食事や行事食を提供したり、お寿司の出前を取る事もあります。職員も一緒に食卓を囲み楽しい時間となる様に支援しています。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事・水分量については、個々に記録している。体重の変動やその日の状況 前後の日も含め情報共有しながら支援している。		

愛の家グループホーム香芝（青空）

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	起床時と毎食後、就寝前にはお一人お一人に合わせた口腔内の清潔保持を行っている。ご家族様にも相談し、歯科医と連携している。		
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	個々の状況に合わせ、一日の中でも状況により使用方法を話し合いながら変更し、個別の支援を行っている。	排泄が自立している方も多く、現状を維持出来る様に個々の排泄チェックを行い時間やサインを確認しながら、その人に合わせた支援を行っています。また利用者の好きな歌を歌うことで落ち着いて便座に座り排泄が出来る様になった事例もあり、様々な方法や関わりを検討しながら支援しています。また、日々カンファレンスを行い排泄用具や失禁の原因を話し合い自立に向けた支援を行っています。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食べ物や飲み物で工夫し、医師・看護師とも連携しながらご家族様にも協力頂き、個々に対応している。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	ケアプランにも加え、ご本人の希望やタイミングに合わせて入浴が出来ている。曜日や時間帯もご本人に都度了承いただき実施している。	入浴の時間や回数は利用者の希望に合わせた支援を行っています。入浴を拒む方には、無理に勧めることなくタイミングや介助方法、声かけを工夫しています。一人ずつ湯を入れ替え浴槽の掃除を行い、季節のゆず湯や入浴剤、本人専用のシャンプーや石鹸を使う方もおり、入浴を気持ち良く楽しんでもらえるよう支援しています。また、浴室や脱衣室の温度管理にも気をつけています。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	お一人お一人の状況に合わせ、ケアプランでも全職員が様子観察に努め、		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	医師・看護師・薬剤師の指示の下、状況や薬剤情報の変更がある都度、支援方法や情報の理解に努めている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	役割として洗濯物や食事作り、掃除にも積極的に関わっていただけるよう工夫している。 個々の趣味や楽しみに合わせ、図書館・買い物・畑作業・日曜大工・散歩を支援している。		

愛の家グループホーム香芝（青空）

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している	日常の会話の中やご家族様からのアドバイスも頂きながら個別の外出は実施できている。ご家族様にもご理解いただき、ご本人の希望される場所に出かける機会を心がけている。	天候と体調に合わせて毎日の散歩や地域の行事、図書館や喫茶店等に出かけています。季節の行事では、初詣や桜、梅、ダリヤ、チューリップ等の花見や紅葉狩り等の外出等を企画しています。また、近所の公園に弁当を持って出かけたりのホームの庭での外気浴も行っています。利用者の希望を聞き誕生日には映画鑑賞や古本屋等個別の外出の支援も行い、外出の機会を持てるよう支援しています。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	外出支援の中で、個人で支払いをお願いしている。散歩の途中でも自販機を使う機会を作っている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご本人の希望に寄り添えるよう、ご家族にも協力いただきながら電話や手紙 写真などでやり取りが出来るよう支援している。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関やフロア内には季節や日時が分かる物、一日の状況(天候や・気温)にも注意し、皆様が居心地が良い空間作りに日々努めている。	共有空間は毎日清掃し清潔が保てるよう心掛け、温度計や湿度計、加湿器を設置し定期的な換気や温湿度に留意しています。玄関には季節感がある生け花、各ユニットには行事の写真や職員の名前と顔が分かる写真が飾られています。リビングや畳スペースのコタツ、廊下の端にはベンチがあり、好きな場所で自由に過ごす事が出来る空間を作っています。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共有空間の中には、個々が座りやすい椅子やソファの配置、個室を整え工夫している。季節ごとにレイアウトを変えたり、和室にコタツを置き団らのスペースとして利用頂けるようにしている。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居前や入居後も様子をお伝えしながら、ご本人の馴染みや好みに合わせ環境を整えるよう配慮している。居室でお一人になる事が不安な場合は、リビングの和室で休んで頂く事も出来るようベッドを設置している。	居室は明るく整頓され清潔感があり、自宅での生活習慣を尊重し、ベッドか布団を選択してもらい自宅の部屋を参考に相談して家具を配置しています。自宅で使い慣れた家具や机、椅子、ラジカセや趣味のエレクトーン、大切な仏壇を置いたり、家族の写真を飾る等、利用者の過ごしやすい居室となるよう配慮しています。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	家具の配置や共有スペースの利用時には、ご本人が過ごしたい形で過ごし生活が送れるよう、状況に合わせ工夫している。		